



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月7日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社ノリタケカンパニーリミテド

コード番号 5331 URL <https://www.noritake.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 博

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務部長 (氏名) 水口 宗成 TEL 052-561-7116

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	67,559	△0.4	4,889	7.9	6,959	5.8	5,793	11.9
2023年3月期第2四半期	67,801	10.3	4,533	8.1	6,580	15.7	5,175	23.1

(注) 包括利益 2024年3月期 第2四半期 9,349百万円 (23.0%) 2023年3月期 第2四半期 7,601百万円 (123.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	400.55	—
2023年3月期第2四半期	358.61	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	186,016	136,789	73.1	9,379.82
2023年3月期	180,585	128,961	71.0	8,881.90

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 135,957百万円 2023年3月期 128,189百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	90.00	—	115.00	205.00
2024年3月期	—	120.00	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	—	—	120.00	240.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	139,000	△0.4	10,000	11.5	13,500	8.8	11,000	9.7	758.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期 2Q	14,842,849株	2023年3月期	14,842,849株
② 期末自己株式数	2024年3月期 2Q	348,179株	2023年3月期	410,151株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期 2Q	14,464,602株	2023年3月期 2Q	14,433,568株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2024年3月期の連結業績予想につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいており、今後発生する状況の変化によっては実際の業績と異なる可能性があります。なお、上記の予想の前提条件その他関連する事項につきましては、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の売上高は675億59百万円(前年同期比0.4%減少)、営業利益は48億89百万円(前年同期比7.9%増加)、経常利益は69億59百万円(前年同期比5.8%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は57億93百万円(前年同期比11.9%増加)となりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

#### (工業機材)

オーダーメイド品は、国内では、主要顧客である自動車業界の生産が回復したものの、鉄鋼、ベアリング、電子部品関連業界の生産が減少したことから、売上は前年並みとなりました。海外では、北米は自動車の生産回復により増加しましたが、中国は景気減速を背景に鉄鋼の生産が大きく減少し、東南アジアも自動車の生産が減少した影響を受けたことから、海外全体では売上は減少しました。汎用品は、オフセット砥石などは国内を中心に堅調に推移したため売上は増加、研磨布紙は国内・海外ともに低調で売上は大きく減少しました。その結果、工業機材事業の売上高は、278億85百万円(前年同期比4.9%減少)、営業利益は9億59百万円(前年同期比35.1%減少)となりました。

#### (セラミック・マテリアル)

電子ペースト及び電子部品材料は、車載用が堅調に推移したことに加え、通信機器用の一部顧客での在庫調整が進展したため、売上は増加しました。厚膜回路基板は、センサー用が堅調に推移しましたが、一部製品の販売が終息したため、売上は減少しました。石膏は東南アジア及びアフリカ向けが低調で、売上は減少しました。セラミックコアは交換需要、新規需要共に回復したことから、売上は増加しました。蛍光表示管は、国内・海外共に販売が堅調で、為替の影響もあり、売上は増加しました。セラミック原料は耐熱ガラス用が大きく減少しました。その結果、セラミック・マテリアル事業の売上高は、240億42百万円(前年同期比3.8%減少)、営業利益は32億26百万円(前年同期比15.3%増加)となりました。

#### (エンジニアリング)

主力の焼成炉及び乾燥炉は、リチウムイオン電池用が堅調に推移したことにより、売上は増加しました。攪拌装置は、主要分野の化学向けが回復し、売上は増加しました。濾過装置は、自動車・ベアリング向けは低調でしたが、環境配慮型の新商品が補い、売上は増加しました。超硬丸鋸切断機は自動車部品向けが停滞し、ロードカッターは公共工事が低調なことから、売上は前年を下回りました。その結果、エンジニアリング事業の売上高は、121億44百万円(前年同期比17.1%増加)、営業利益は7億45百万円(前年同期比32.1%増加)となりました。

#### (食器)

国内は、巣ごもり需要の鈍化によりオンライン販売が減少したものの、インバウンドと国内観光客の増加による直営店での売上が増加し、ホテル向け大型案件の受注もあったことから、売上は微増となりました。海外は、米州は米国でのオンライン販売やメキシコ向けが好調であったことから、売上は増加しました。アジアは中国向けが景気減速の影響を受け苦戦しましたが、インドやアジア諸国向けが好調で、売上は増加しました。加えて為替の影響もあったことから、海外全体で売上は増加しました。その結果、食器事業の売上高は、34億87百万円(前年同期比11.6%増加)、42百万円の営業損失(前年同期は3億7百万円の営業損失)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金が減少したものの、仕掛品及び投資有価証券が増加したことから、前連結会計年度末に比べ54億30百万円増加し、1,860億16百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金並びに短期借入金が増加したことから、前連結会計年度末に比べ23億97百万円減少し、492億26百万円となりました。

純資産は、利益剰余金及び為替換算調整勘定が増加したことから、前連結会計年度末に比べ78億27百万円増加し、1,367億89百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ5億96百万円増加し、126億5百万円となりました。また、当第2四半期連結累計期間におけるフリー・キャッシュ・フローは78億63百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により得られた資金は101億79百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益を75億46百万円計上したことに加え、減価償却費を23億63百万円計上したことによるものです。

前第2四半期連結累計期間との比較では、115億45百万円の収入増加となりました。(前第2四半期連結累計期間は13億66百万円の支出)

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動に使用した資金は23億15百万円となりました。これは主に有形及び無形固定資産の取得により29億21百万円支出したことによるものです。

前第2四半期連結累計期間との比較では、3億33百万円の支出減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動に使用した資金は77億73百万円となりました。これは主に短期借入金の純増減額が59億89百万円減少したことに加え、配当金の支払額が16億91百万円あったことによるものです。

前第2四半期連結累計期間との比較では、95億69百万円の支出増加となりました。(前第2四半期連結累計期間は17億95百万円の収入)

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、本日(2023年11月7日)公表の「2024年3月期 第2四半期業績予想と実績値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、2023年5月11日に公表いたしました通期業績予想値を修正しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,601	15,942
受取手形及び売掛金	36,318	32,791
電子記録債権	5,037	6,300
商品及び製品	12,769	12,662
仕掛品	8,739	12,499
原材料及び貯蔵品	8,075	7,803
その他	3,189	2,385
貸倒引当金	△128	△25
流動資産合計	88,603	90,360
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,399	18,804
その他(純額)	27,501	27,537
有形固定資産合計	45,900	46,342
無形固定資産	1,934	2,000
投資その他の資産		
投資有価証券	38,411	41,459
退職給付に係る資産	4,359	4,424
その他	1,587	1,592
貸倒引当金	△210	△163
投資その他の資産合計	44,148	47,313
固定資産合計	91,982	95,656
資産合計	180,585	186,016

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,954	8,370
電子記録債務	10,113	12,051
短期借入金	12,450	6,462
未払法人税等	1,415	2,361
賞与引当金	1,757	1,782
設備関係支払手形	165	186
営業外電子記録債務	947	990
その他	5,326	7,881
流動負債合計	42,130	40,085
固定負債		
引当金	780	547
退職給付に係る負債	1,449	1,463
その他	7,263	7,130
固定負債合計	9,493	9,141
負債合計	51,623	49,226
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	15,632	15,632
資本剰余金	18,593	18,593
利益剰余金	79,936	84,038
自己株式	△1,256	△1,084
株主資本合計	112,905	117,179
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,526	15,203
為替換算調整勘定	△308	1,692
退職給付に係る調整累計額	2,066	1,882
その他の包括利益累計額合計	15,284	18,777
非支配株主持分	772	832
純資産合計	128,961	136,789
負債純資産合計	180,585	186,016

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	67,801	67,559
売上原価	50,176	49,353
売上総利益	17,625	18,206
販売費及び一般管理費		
販売費	8,692	8,447
一般管理費	4,399	4,869
販売費及び一般管理費合計	13,092	13,316
営業利益	4,533	4,889
営業外収益		
受取利息	46	141
受取配当金	547	549
受取賃貸料	255	259
為替差益	435	279
持分法による投資利益	741	845
その他	131	109
営業外収益合計	2,158	2,185
営業外費用		
支払利息	8	10
固定資産賃貸費用	65	71
その他	37	32
営業外費用合計	111	115
経常利益	6,580	6,959
特別利益		
固定資産売却益	2	18
投資有価証券売却益	—	1,003
特別利益合計	2	1,022
特別損失		
固定資産処分損	152	433
投資有価証券評価損	0	1
特別損失合計	153	435
税金等調整前四半期純利益	6,429	7,546
法人税、住民税及び事業税	1,363	2,479
法人税等調整額	△115	△749
法人税等合計	1,248	1,730
四半期純利益	5,180	5,815
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	21
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,175	5,793



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	5,180	5,815
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△249	1,676
為替換算調整勘定	2,851	2,025
退職給付に係る調整額	△214	△183
持分法適用会社に対する持分相当額	33	14
その他の包括利益合計	2,420	3,533
四半期包括利益	7,601	9,349
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,514	9,287
非支配株主に係る四半期包括利益	87	61

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	6,429	7,546
減価償却費	2,355	2,363
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8	△157
退職給付に係る負債及び資産の増減額	△251	△324
引当金の増減額(△は減少)	25	△232
受取利息及び受取配当金	△594	△691
支払利息	8	10
持分法による投資損益(△は益)	△741	△845
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1,003
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	0	1
有形及び無形固定資産除売却損益(△は益)	150	415
売上債権の増減額(△は増加)	△3,210	2,594
棚卸資産の増減額(△は増加)	△6,748	△2,799
仕入債務の増減額(△は減少)	2,803	221
その他	△221	3,586
小計	△2	10,683
利息及び配当金の受取額	594	691
利息の支払額	△8	△10
法人税等の支払額	△1,949	△1,185
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,366	10,179
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,474	△2,921
有形及び無形固定資産の売却による収入	15	22
投資有価証券の取得による支出	△16	△14
投資有価証券の売却による収入	—	1,241
貸付けによる支出	△74	△49
貸付金の回収による収入	13	31
定期預金の預入による支出	△2,342	△2,896
定期預金の払戻による収入	2,461	2,480
その他	△232	△209
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,649	△2,315
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,005	△5,989
自己株式の売却による収入	269	—
自己株式の取得による支出	△271	△2
配当金の支払額	△1,171	△1,691
その他	△35	△89
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,795	△7,773
現金及び現金同等物に係る換算差額	436	506
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,783	596
現金及び現金同等物の期首残高	11,733	12,008
海外子会社の決算報告期間統一に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	415	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,366	12,605

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	工業機材	セラミック・ マテリアル	エンジニア リング	食器	計
売上高					
顧客との契約から生じる収益	29,321	24,986	10,367	3,125	67,801
外部顧客への売上高	29,321	24,986	10,367	3,125	67,801
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	1,478	2,797	564	△307	4,533

(注) 報告セグメントの利益又は損失は、営業利益又は営業損失であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要な事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	工業機材	セラミック・ マテリアル	エンジニア リング	食器	計
売上高					
顧客との契約から生じる収益	27,885	24,042	12,144	3,487	67,559
外部顧客への売上高	27,885	24,042	12,144	3,487	67,559
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	959	3,226	745	△42	4,889

(注) 報告セグメントの利益又は損失は、営業利益又は営業損失であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要な事項はありません。

## (重要な後発事象)

## (株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、2023年11月7日開催の取締役会において、株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更を決議いたしました。

## 1. 株式分割の目的

投資単位当たりの金額を引き下げることにより、当社株式の流動性の向上及び投資家層の拡大を図ることを目的とするものです。

## 2. 株式分割の概要

## (1) 分割の方法

2024年3月31日(日)を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する当社普通株式を、1株につき2株の割合をもって分割いたします。

## (2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	14,842,849 株
今回の分割により増加する株式数	14,842,849 株
株式分割後の発行済株式総数	29,685,698 株
株式分割後の発行可能株式総数	79,500,000 株

## (3) 分割の日程

基準日公告日(予定)	2024年3月14日(木)
基準日	2024年3月31日(日)
効力発生日	2024年4月1日(月)

## (4) 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
1株当たり四半期純利益	179円30銭	200円27銭

## 3. 株式分割に伴う定款の一部変更

## (1) 変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2024年4月1日(月)をもって、当社定款第6条の発行可能株式総数を変更いたします。

## (2) 変更の内容

変更の内容は、次のとおりです。(下線は変更部分を示しております。)

現行定款	変更後
(発行可能株式総数) 第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>3,975万株</u> とする。	(発行可能株式総数) 第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>7,950万株</u> とする。

## (3) 変更の日程

取締役会決議日	2023年11月7日(火)
効力発生日	2024年4月1日(月)

## 4. 配当金について

今回の株式分割は、2024年4月1日を効力発生日としておりますので、2024年3月31日を基準日とする2024年3月期の期末配当金につきましては、株式分割前の株式数を基準に実施いたします。

## 【ご参考】 2024年3月期 第2四半期決算短信 補足資料

### 1. 当期連結業績の概要

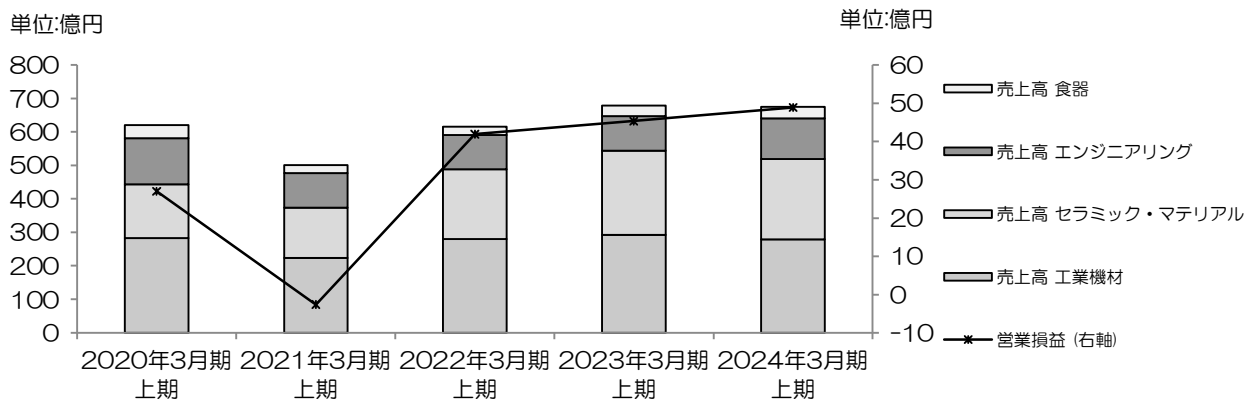
<b>【業績】</b>
売上高 676億円（前年同期比 2億円減収） US\$ 7.31円の円安、EUR 15.67円の円安、THB 0.29円の円安 により、売上高8.0億円増加 営業利益 48.9億円（前年同期比 4億円増益） 経常利益 69.6億円（前年同期比 4億円増益） 親会社株主に帰属する四半期純利益 58億円（前年同期比 6億円増益）
<b>【連結の範囲】</b>
連結会社 22社（増減なし） 持分法適用会社 4社（増減なし）
<b>【特別損益】</b>
特別利益 10.2億円：投資有価証券売却益 10.0億円、固定資産売却益 0.2億円 特別損失 4.4億円：固定資産処分損 4.3億円等
<b>【中間配当金】</b>
中間配当 120円/株（前期中間90円/株） 期末配当 120円/株 予定（前期期末115円/株）

#### (1) 業績推移

（単位：億円 四捨五入）

		2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	対前年同期比
		3月期	3月期	3月期	3月期	3月期	
		上期実績	上期実績	上期実績	上期実績	上期実績	
売上高	工業機材	283	223	280	293	279	△ 14
	セラミック・マテリアル	161	151	208	250	240	△ 9
	エンジニアリング	137	103	102	104	121	18
	食器	39	24	25	31	35	4
		619	502	615	678	676	△ 2
営業利益	工業機材	2.3	△ 15.9	12.5	14.8	9.6	△ 5.2
	セラミック・マテリアル	12.7	10.1	28.8	28.0	32.3	4.3
	エンジニアリング	15.7	9.7	7.8	5.6	7.5	1.8
	食器	△ 3.8	△ 6.5	△ 7.2	△ 3.1	△ 0.4	2.6
		26.9	△ 2.6	41.9	45.3	48.9	3.6
(売上高営業利益率)	(4.3%)	(△0.5%)	(6.8%)	(6.7%)	(7.2%)	-	
経常利益		37.2	6.6	56.9	65.8	69.6	3.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益		28.1	△ 0.2	42.1	51.8	57.9	6.2
1株当たり四半期純利益		195.56円	△ 1.44円	291.4円	358.61円	400.55円	-
1株当たり純資産		7,245.02円	7,083.18円	7,882.09円	8,652.56円	9,379.82円	-
US\$ 為替レート		110.0円	108.2円	108.5円	135.3円	142.6円	-

売上高及び営業損益の推移（2020年3月期上期-2024年3月期上期）



**(2) 設備投資及び減価償却費**

(単位：億円 四捨五入)

	2023年3月期 上期		2024年3月期 上期	
	設備投資	減価償却費	設備投資	減価償却費
工業機材	16	10	12	10
セラミック・マテリアル	6	8	7	8
エンジニアリング	1	1	1	1
食器	1	1	1	1
管理部門	1	4	5	3
合計	25	24	27	24

**(3) 有利子負債**

(単位：億円 四捨五入)

	2020年3月	2021年3月	2022年3月	2023年3月	2023年9月	対前期比
有利子負債※	51	79	65	125	65	△ 60
現金及び預金	126	123	142	146	159	13
ネット有利子負債	△ 75	△ 44	△ 77	△ 22	△ 95	△ 73

※ 有利子負債には、リース債務は含めておりません。

**2. 2024年3月期の予想****(1) 重点施策****【工業機材】**

- ・前期に事業をオーダーメイド品と汎用品に再編。効率的な事業体制を構築します。
- ・オーダーメイド品事業では、成長領域向け製品の増産体制の確立、販売拠点の整備等により、収益基盤を強化します。また、半導体、自動車の電動化等の成長領域における新技術・新商品の開発を進めます。当第2四半期は、パワー半導体ウェハー工具の量産化と注射針用砥石の生産能力の増強を開始しました。
- ・汎用品事業では、前期に連結子会社2社を合併し一本化した事業体制のもと、経営基盤の効率化と製造販売体制の再編を行い、収益力を強化します。また、エレクトロニクス向け製品の増産体制と、成長領域への進出に向けた製造・開発・営業体制を構築し、経営資源の集中を図ります。

**【セラミック・マテリアル】**

- ・電子ペーストは、エレクトロニクス分野において、製品ラインナップの拡張と新商品の開発を進めます。
- ・電子部品材料は、積層セラミックコンデンサ用材料の生産能力の増強を引き続き行うとともに、成長領域における新商品の開発を進め、事業の拡大を図ります。
- ・事業の選択と集中、新商品・新事業の創出により、事業ポートフォリオの再構築を図ります。

**【エンジニアリング】**

- ・エネルギー、エレクトロニクス分野では、拡販とアフターサービス体制の強化、新商品の投入によりシェアの拡大を図ります。当第2四半期は、リチウムイオン電池用連続焼成炉の組立工場の増設に着手しました。また、自動車分野では、電動化に伴う新用途・新商品の開発を進めます。
- ・新しい分野（医療・医薬、半導体、新素材）への参入と市場の開拓、環境分野での新用途・新商品の開発を強化します。当第2四半期は、テストセンターの拡充に着手しました。
- ・2023年4月1日付で超硬丸鋸切断機に係る事業を連結子会社へ承継。インフラ市場での拡販を図ります。

**【食器】**

- ・国内は、オンライン販売の強化とホテル・レストラン向けの拡販を進めるとともに、流通販路・物流の再整備による経費削減を図ります。
- ・海外は、成長市場であるインド、中国、東南アジア等主要国への拡販と米国の収支改善に取り組みます。

**【設備投資金額】**

設備投資 80億円

減価償却費 50億円

**(2) 業績予想**

(単位：億円 四捨五入)

	2023年 3月期	2024年3月期 業績予想				
		通期実績	上期実績	下期予想	通期予想	通期増減
売上高	工業機材	575	279	286	565	△ 10
	セラミック・マテリアル	492	240	225	465	△ 27
	エンジニアリング	259	121	169	290	31
	食器	69	35	35	70	1
		1,395	676	714	1,390	△ 5
営業利益	工業機材	23.5	10	12	22	△ 2
	セラミック・マテリアル	48.4	32	26	58	10
	エンジニアリング	20.5	7	14	21	1
	食器	△ 2.8	△ 0	△ 1	△ 1	2
		89.7	49	51	100	10
経常利益		124.1	70	65	135	11
親会社株主に帰属する当期純利益		100.2	58	52	110	10

(下期想定為替レート US\$=135円)